

2009年11月30日
株式会社日立製作所

東京電力から国内最大級のメガソーラー発電システムを一括で受注

株式会社日立製作所(執行役会長兼執行役社長:川村隆/以下、日立)は、このたび、東京電力株式会社(取締役社長:清水正孝/以下、東京電力)より、同社が新設する扇島太陽光発電所(仮称)向けに、電気事業用としては国内最大級となる発電出力約1.3万kWのメガソーラー発電システムを一括で受注しました。

近年、CO₂排出抑制の観点から、世界各国で太陽光や風力等、再生可能エネルギーの活用が推進されています。日本でも、2020年度までに全国約30地点で約14万kWのメガソーラー発電所が電力会社によって建設される計画となっています。

今回建設される扇島太陽光発電所(仮称)は、東京電力が建設する初の電気事業用メガソーラー発電所で、約1.3万kWの発電出力を有し、電気事業用としては国内最大級の太陽光発電システムとなります。本システムの発電電力量は一般家庭約3,800軒分に相当し、このシステムによるCO₂排出量削減効果は年間約5,800トンとなります。今回、日立は、本システムの設計・調達・製造・据付・試運転までを一括して受注しました。建設地は、神奈川県川崎市川崎区扇島で、納期および運転開始は2011年度を予定しています。

太陽光発電では、天候による出力変動が大きいことから、電力系統への影響が課題となりますが、日立は太陽光発電システムを電力系統に連系した際の影響を最小限に抑える系統連系技術を有しており、同技術は独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のメガソーラー実証研究^(*)にも適用されています。また、日立は、メガソーラー発電システムを構成する重要な機器である、高効率かつ大容量のパワーコンディショナーをはじめ、監視制御システム、変圧器、遮断器など、さまざまな機器・システムを幅広く手掛けています。日立は、これらの技術・機器・システムとこれまでに蓄積したノウハウから、高効率で信頼性の高いメガソーラー発電システム全体を取り纏めることができます。

日立は、2009年4月に風力や太陽光などの再生可能エネルギーおよびスマートグリッド分野における機器・システム事業を日立グループ全体で統括的に推進・拡大する目的で、新エネルギー推進本部を設立し、取組みを加速しています。今後も需要の高まりが見込まれる再生可能エネルギー関連分野で積極的に事業を展開し、低炭素社会の実現に貢献していきます。

* 山梨県北杜市における「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」。
日立は、株式会社NTTファシリティーズの再委託先として参画している。

■扇島太陽光発電所(仮称)の完成予想図



■照会先

株式会社日立製作所 電力システム社 電力営業本部 電力システム営業部 [担当:野澤]
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
電話 03-4564-5410 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
